令和６年３月10日発行

養徳寺だより

第72号

養徳寺　〒915-0824 福井県越前市武生柳町 4-33
TEL 0778-22-3889　FAX 0778-22-3859
shoujyoukai@yahoo.co.jp

＜令和６年度 年間行事＞

春季彼岸永代経	三月二十日（水・祝）	午前十時
初参式・花まつり	四月六日（土）	午前十時
夏季永代経	七月十三日（土）	午前十時
墓詣法要	八月十一日（日・祝）	午前十時
養徳寺夏まつり	八月十二日（月・休）	午前十一時
秋季彼岸永代経	九月二十三日（月・休）	午前十時
報恩講	十月二日（水）	午前十時
研修旅行	十月二十日（日）	午前八時
除夜会	十二月三十一日（火）	午後十一時半

年頭挨拶

養徳寺住職　出雲裕樹

年頭にあたり一言御挨拶申し上げます。

まず、元日に発生した能登半島地震により亡くなられた方とそのご家族の皆さまへ哀悼の意を表するとともに、被災され今なお避難生活を余儀なくされている方々へ、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願います。

浄土真宗本願寺派の寺院も石川・富山を中心に、実に五百を超える寺院より、本堂や鐘楼、庫裏等の建物損壊、墓地内の墓石の倒壊、津波による浸水などの被害報告がなされており、さらに多くの門信徒も被害を受けているとのことです。宗門ではこうした被害に対し、発災直後より人的・物資支援を実施しており、災害義援金については総額五千万円を超える金額となっています。拙寺におきましても、教区、組内の寺院と連携し、可能な限り支援を実施したいと考えております。

皆さまも連日の報道をご覧になり、心を痛められていることと存じますが、このようにひとたび大規模災害が発生すると、我々の生活は一変してしまいます。

我々は明日をも知れぬいのちを生かされている、そのことを再認識し、親鸞聖人がお示しになられたお念仏の教えを聞かせていただくことが肝要です。

「南無阿弥陀仏」のお名号は、苦しみを抱えた私たちこそを目当てとした「我に任せよ、必ず救う。安心して生きよ。」という阿弥陀さまからの呼び声であり、「決して見捨てない」と、あらゆる功徳がそこには込められています。

お念仏申させていただけることに深く感謝し、一人でも多くの方にみ教えを伝えられますよう努力精進してまいりたいと思いますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。　合掌

元旦会

雛の会　総会と新年会

末永富士子

一月二十七日に前日からの雪も治まり、十五名の出席で「みどり屋」さんにて総会が行われました。年末年始は雪も無く、暖かい新年を迎えられましたが元旦の夕に能登半島で大地震、津波、さらに火災発生と正月気分も吹き飛んでしまいました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

私たち越前市では大きな災害も無く、元気でこうして集まる事ができたこの日を大切にしたいと思いました。

その後の新年会では美味しいご馳走でお腹いっぱいになり、あちらこちらで久しぶりに話の花が咲き、皆様とても楽しそうでした。ビンゴなどで喜んだ人、残念がった人など短い時間でしたが、笑顔の平和な日常に感謝して閉会となりました。

今年は若坊守さんが入会され心強い限りです。

会員一同、養徳寺をお護りするために力を合わせて行きたいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。　合掌

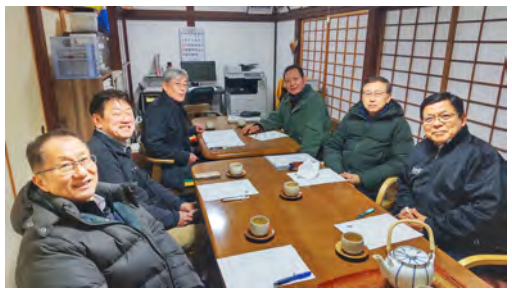
清浄会 総会・新年会

水上康男

一月八日、寒さで体が引き締まる御堂にて総会が開催されました。読経の後、決算や事業計画案などが承認されました。意見としては「行事等に参加する人が少ない」との案件には「魅力ある行事にする」「参加を強く呼びかける」と片谷会長が返答されました。その後みどり屋さんにて新年会、病気や高齢などの理由で少人数の宴でしたが、ゲームなどで楽しめました。

ところで私は今年になってコロナに感染して、まだまだ感染対策をしながらの生活を強いられるのかなと思っております。今年は地震などの大きな災害で始まりましたが、新幹線開業など観光面で県内は賑やかになりそうです。

この会を通して養徳寺の護持や親睦に努めたいと思いますのでどうぞ皆様、寺や会の催しに世間話をしに来る積もりでご参集ください。　合掌



谷口サキエさんを偲ぶ

千葉晃弘

私が在職中に某銀行武生支店の顧客で「邦武会」という会があり、年一回の旅行を行っていた。その中に、上品な年上の女性の仲間達がおられました。その中の一人が養徳寺の庭参りの信徒で、問屋団地の「（株）小川」という大きな雑貨屋を営む「小川竹風堂」の奥様、谷口サキエさんでした。

お寺の行事などで、ご挨拶をすると親しく話かけてくださいました。彼女の谷口家のお墓はお寺の総墓の西側に建ち、お彼岸になるとせっせとお参りをしていたお姿が思い出される。サキエさんには三人の兄がいましたが、特に中の兄とは仲が良くて、よく行き来して消息を確かめ合っていたと聞きました。「その兄も耳が遠くなり、電話では聴き取れなくなった」と言っていました。

この兄が鯖江市大野町の杉本家に嫡子に入ったのは、有定町の実家と杉本家の姻戚関係からであろうと思われます。当家は、詩人の師匠である杉本直先生の本家にあたります。

サキエさんは二年前に八十八歳の天寿を全うして往生されました。今生でのご恩に感謝申し上げます。　合掌

サキエさんと
お孫さんとひ孫さん

●ホームページも、ぜひご覧ください。
「養徳寺だより」も見ていただけます。

養徳寺　検索

おしらせ

★清浄会・雛の会の会員を募集中です。
★養徳寺では初参式に参加されるお子様を募集しております。
★墓参の際に忘れ物が多いようですので気を付けましょう。

◆俳句談義◆

養徳寺だよりでは俳句、川柳、短歌などを募集しております

おちこちのナースの会話冬温し　潤子
細雪番傘粋に下駄姿　幸只
叱られる人は伸びます壬生念仏　貞子
初蝶や偉人の墓碑へ風の道　康男
積み重ね大きな信用春の風　啓治

清浄会に入会しました

森谷祐一郎

越前市松森町に住み、建築業をしております。四月で五十才になります。

小さい頃から家族で墓参りに来ていたので、お寺というとお墓のイメージが強くて心霊的で怖い印象でした。しかし十年程前にひょんなことから『養徳寺だより』の作成に携わるようになり、花まつりや夏まつり、除夜の鐘撞きといろんな行事に参加しているうちにお寺へのイメージも変わり、親しみも深くなっていきました。

そうこうしているうちに両親も体力的に行事参加が厳しくなってきたので、入れ替りで『清浄会』に入会することになりました。

今は他の集まりでも人手が少なく、また組織に所属することを避ける傾向にありますが、人との繋がりが今まで以上に必要な時代が来ていると思います。

「何かの折には養徳寺に関わる方達と手を携えていけるような絆が築けるといいな」と思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ひとこと

家族葬に思う

北岡ちよ子

この前、親戚のお葬式に行きました。一時間前に式場に入り、式は近親者のみの家族葬と知りました。

まず目に入ったその花籠に「じいちゃん、今までどうもありがとう」八十三歳まで生きてくれたことに感謝の気持ちが書かれていました。「いろいろと生きていて大変なこともたくさんあったでしょうに…」と思われて自然に涙が溢れました。そして外孫の五年生、二年生、四歳の孫たちが、こんなに静かにお経を聞いて座っていることに驚きました。

いつもちょっかいばかりして遊んでいるこの子たちが大人しく、じいちゃんを見送っている姿に「大きくなったなあ」と感激しました。

十名ちょっとの家族葬でしたがとても優しくなれる時間でした。この人がいたから可愛い三人の孫たちも産まれたのです。顔見知りの方たちと孫の話に花が咲きました。家族葬に少し不慣れな事もありましたが「家族葬でもいいじゃない」と今、しっかりと思います。本当に極楽浄土へゆくであろうと信じる人だけのお葬式。

「生きている時にもっとよくしてあげればよかった」と悔いはありますが、今でも空から私たちを見守ってくださると信じております。　合掌

総代責任役員
小林幸只
鯖江市糺町 44 号 28 番地

和ろうそく製造・香・沈香・線香
香　小川竹風堂 OGAWA
越前市元町 1-6　☎ 0778 (22) 3192

仏壇・仏具・おすすめ出し
北荘仏壇店
鯖江市深江町 10-4　☎ 0778 (51) 4476

Ys home
株式会社 ワイズホームサービス
越前市三ツ口町 125-8　☎ 0778 (43) 5002

東京海上日動代理店
㈱アシスト・タニグチ
タニグチ保険事務所
越前市南 2-2-8　☎ 0778 (22) 2713

LP ガス・灯油・給排水設備工事
株式会社 テクノ永谷
越前市国府 2 丁目 12-7　☎ 0778 (24) 1868

墓碑・建築用石材
有限会社 増谷石材本店
越前市武生柳町 6-2　☎ 0778 (22) 1148

包丁・鎌・鋏・園芸用具・工具
刃物プラザミズカミ 水上仙助商店
越前市東千福町 7-4　☎ 0778 (22) 1524